



通信 Sep.



今年は台風の上陸が多く、あちこちで被害が起き、お見舞い申し上げます。台風は朝と夕方では様子が変わります。天気予報やニュースで安全を確かめて来てください。

個別港学舎 舎長 八木貴子

学習状況のお知らせ

夏休みやオリンピック中継で生活のリズムが乱れたままの人もあります。これからは学校生活を中心に計画を立て、特に受験生は塾の自習、演習時間を活用し学習時間を増やしましょう。担当の先生にも相談してください。また学習席での電話や音楽機器の使用は禁止。飲食のルールも守ってください。



いろはに偉人裏話「へ」

「へ」、ベートーヴェン。不自由な耳、混乱する家庭環境を乗り越えて、多くの名曲を残し、後の作曲家たちにも多大な影響を与えた「楽聖」、ベートーヴェン。彼の名前を知らない人はいないでしょう。もし、名前を知らなくても、「ジャジャジャーン」の交響曲第5番は誰の耳にも記憶があるので



ではないでしょうか。ベートーヴェンは自ら「運命はこのように戸を叩く」と言ったとか?・・・この交響曲をイメージから「運命」と呼ぶのは、実は日本だけです。外国では、特に日本のようなイメージは持たず、曲調も日本より軽く演奏されるようです。



ベートーヴェンは父に似て大の酒好き、父はアルコール中毒になって家庭を壊しましたが、ベートーヴェンは、当時の鉛化合物を含むワインを愛飲したことで、鉛中毒となり難聴になったとされています。その後、34歳で最高度難聴者となったにもかかわらず、交響曲第3番を発表しました。

これは別名「エロイカ(英雄)」、当時フランスで活躍していたナポレオンに捧げる曲として作曲されましたが、ナポレオンが「皇帝」に就任したことに怒り、題名を替えてしまいました。ベートーヴェンのピアノ曲といえば、多くの人に愛奏されている「エリー



ゼのために」。本来「テレーゼのために」という曲名でしたが、悪筆で解読不可能などの原因で「エリーゼ」となったようです。日本では、ポップスとしてアレンジされ、



古くは「情熱の花」、その後「キスは目にして」と言う曲名でヒットしました。いずれも情熱的な恋の歌ですが、ベートーヴェンもピアニストで一世を風靡した2、30歳台は相当なプレイボーイだったようです。しかし、これを作曲した40歳には全く耳は聞こえなくなっていました。その後も交響曲第9番(合唱)や多くのピアノソナタなどを残した偉大な作曲家です。

旬! ゴーヤチャンプルのレシピ

「ゴーヤ」は沖縄の方言で、和名は「ツルレイシ」、「ニガウリ」です。2001年から放送されたNHK連続テレビ小説「ちゅらさん」により沖縄文化が注目されるようになり、ゴーヤやゴーヤチャンプルーも広まってきました。



成分にビタミンCなどの水溶性ビタミンや、健胃効果のある苦味タンパク質を含むことから夏バテに効く健康野菜として認知度が上がり全国で栽培されています。

ゴーヤチャンプルー

「チャンプルー」とは沖縄方言で「混ぜこぜにした」という意味で、野菜や豆腐に限らず、いろいろな材料を炒め合わせます。ゴーヤ以外にも、マーミナー(もやし)、ナーベラー(ヘチマ)、ソーミン(素麺)などがあります。今ではコンビニやスーパーの惣菜の定番となっています。

ゴーヤ:1本、木綿豆腐:1丁、豚バラ肉:200g
又はスパム(ランチョンミート⇒写真)、ニンジン:5cm、卵:2個、塩、コショウ、サラダ油、しょうゆ、鰹節(4人分)

- ①豆腐はキッチンペーパーで包み重しをして水を切る。
- ②ゴーヤは縦半分に切って、スプーンで綿と種を取り、5mm幅に切り、塩で揉み、約5分置いて水洗いして、ザルに上げる。
- ③豚肉は3~4cmに切る。(スパムは1cmの棒切り。)
- ④ニンジンも千切りにする。
- ⑤フライパンに油を入れ熱して、ちぎった豆腐を入れ炒めて焼き色を付ける。

- ⑥ゴーヤ、ニンジンを入れ、火を通す。
- ⑦豚肉を入れて、塩、コショウをする。
- ⑧ほぐした卵を入れ、ざっくり混ぜる。
- ⑨火が通ったら、味を見て、しょうゆで味を調える。
- ⑩器に盛りつけて、鰹節をかける。

